

**JASDAQ**

平成 29 年 1 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジー
代 表 者 名 代表取締役社長 津吹 憲男
(コード番号 3356 東証 JASDAQ 市場)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長 阿部 昭彦
電 話 03-3237-3291

株式会社S J Iとのブロックチェーン技術を応用した 商品の共同開発にかかる業務提携のお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月 17 日開催の取締役会において、株式会社 S J I (JASDAQ 上場、証券コード「2315」、本社：東京都目黒区、代表取締役社長：牛 雨、以下、「S J I」) とブロックチェーン技術を応用した商品の共同開発にかかる業務提携の締結を行うことを決議いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業務提携の理由

当社は、設立以来、欧米諸国において開発された最先端のネットワークセキュリティ分野の製品及びソリューションを国内大手企業に提供してまいりました。近年においては、自社開発を促進し、高速でのパケット・キャプチャ、パケットの保存及びその復元を可能とした高速キャプチャリングソフトウェア「Momentum」の開発・提供や、米国 Tempered Networks 社と独占販売契約を結び、ステルスネットワーク化を実現することでハッカーからの不正なアクセスや情報漏えいを防ぐスイッチ製品の販売及びイスラエルの KELA 社と販売代理店契約を結び、DarkNet*1でやり取りされるハッカーのコミュニティをモニタリングし、企業にとって脅威となる情報を検知・収集し、分析結果を提供するコンサルティングサービスなど、ネットワークゲートウェイからエンドポイントまでをカバーするセキュリティマネジメントサービスを展開しております。

*1 DarkNet とは、ユーザーに匿名性 (オープン Web では存在しない) を提供するために構築されたパラレルネットワークのことです。

一方、株式会社ネクスグループ (JASDAQ 上場、証券コード「6634」、以下「ネクスグループ」) の子会社である S J I は、40 年以上にわたり金融業を中心に製造業・公共事業・流通業等のシステム開発をおこなっており、現在、フィンテック関連ビジネスを戦略的注力領域に掲げ、特に重要な要因としてブロックチェーン技術に注目し、様々な取り組みを行っております。

S J I は、多くの金融機関向けのシステム開発実績を活かし預金口座管理におけるブロックチェーンの実証実験を完了しており、ブロックチェーン実証実験のシステムサポートを受託し着実に実績を積み上げ、企業がブロックチェーンを自社ビジネスに適用する際にサポートすることを S J I の使命として、積極的に実証実験のシステムサポートに注力しています。

ブロックチェーンは、平成 21 年から稼働し続けているビットコインの中核技術であり、システム稼働における高いセキュリティが証明されております。また、ブロックチェーンのセキュリティをより強固にするための既存セキュリティツールやサービスの適用も有効であると考えられます。そして、セキュリティ分野におけるログ管理およびトレースにもブロックチェーンは親和性が高く、ログデータのより高度な信頼性を担保しております。

なお、いま世界では、蒸気による第 1 次産業革命、電気による第 2 次産業革命、IT による第 3 次産業革命を経て、第 4 次産業革命を迎えつつあります。第 4 次産業革命では車や家電などすべてのものがインターネ

ットに接続され、そのビッグデータの高度な解析が可能となると言われています。AI やブロックチェーンの発展により、現在よりはるかに効率化・省力化された未来が予測され、それらが半ば自律的に現実社会を動かすこととなるでしょう。現実世界（Physical Part）の制御対象のさまざまな状態を数値化し、仮想世界（Cyber Part）において定量的に分析することで新しい知見を引き出し、さらに現実世界へフィードバック及び制御する Cyber-Physical System が実現されることとなります。

そのような世界においては、現実世界のビッグデータを IoT 技術によって保持、収集する能力、それらを仮想世界（Cyber Part）において AI やブロックチェーンによって管理、分析する能力が重要になってきます。そのような中、多くのプライベートな情報を含むビッグデータをやり取りする Cyber-Physical System においては、全体を通じてセキュリティが非常に重要な技術となってきます。

なお、今回の業務提携によって、当社及びS J Iは、ブロックチェーン技術を活用したより高度なセキュリティ製品の共同開発と当社及びS J Iの顧客に提案活動を行ってまいります。

2. 業務提携の内容

- ① S J Iが開発するブロックチェーンを適用したシステムに、テリロジーが持つセキュリティ製品を活用し、より高度なセキュリティを実現した先進的なシステムをテリロジー及びSJIの顧客に幅広く提案を行う。
- ② テリロジーの既存商品の改良及び今後の商品開発において豊富なりソースと技術力をもったS J Iがサポートし、またS J Iの強みであるオフショア開発でコスト削減効果を発揮する。
- ③ テリロジーが持つセキュリティサービス部隊「コンサルティング&ソリューション技術部」とS J Iが持つ基盤チームとの合同体制による新商品の開発とテリロジー及びSJIの知見を融合する事で、基盤技術から業務レイヤーまでのワンストップで提供を行う。
- ④ テリロジーの高い技術力を持つ部隊とS J Iの先端技術を扱うフィンテック戦略室とで、今後の成長が期待できるフィンテック関連技術の共同研究を行う。
- ⑤ テリロジーのMomentum（ネットワーク管理用パッケージ製品）のソフトウェア開発を推進するため、Momentum 開発を共同で事業化するための協議を開始する。
- ⑥ テリロジーのRedSeal（ネットワークセキュリティ監査用パッケージ製品）などの開発及びサービス化するための協議を開始する。

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	株式会社S J I			
(2) 所在地	東京都目黒区大橋一丁目5番1号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 牛 雨			
(4) 事業の内容	情報サービス事業			
(5) 資本金	6,391,713 千円（平成 28 年 10 月 31 日現在）			
(6) 設立年月日	1989 年 7 月 14 日（商号変更 2009 年 7 月 1 日）			
(7) 大株主および持株比率	株式会社ネクスグループ（55.51%） FISCO INTERNATIONAL (CAYMAN) L.P.（3.51%） （平成 28 年 10 月 31 日現在）			
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近3年間の経営成績および財政状態	（単位：百万円）			
	決算期	平成 27 年 3 月期	平成 27 年 10 月期	平成 28 年 10 月期
純資産		7,484	140	481
総資産		30,130	4,606	1,980
1株当たり純資産（円）		31.25	0.36	1.76
売上高		30,340	4,126	5,337
営業利益		337	△265	238

経常利益	253	△552	131
当期純利益	△2,857	△6,060	392
1株当たり当期純利益(円)	△34.60	△38.99	1.61
1株当たり配当金	—	—	—

※平成27年10月期は、決算期変更により平成27年4月1日から平成27年10月31日までの7ヶ月間となっております。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成29年1月17日
(2) 業務提携契約締結日	平成29年1月17日
(3) 業務提携開始日	平成29年1月17日

5. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響は、現段階においては軽微であると考えておりますが、今後、開示の必要性が生じた際には、その内容を速やかに開示いたします。

(参考)

○テリロジーとフィスコグループの協業について

平成29年1月17日付「株式会社ネクスグループとの資本業務提携、株式の売出し、主要株主の異動に関するお知らせ」のとおり、当社は、株式会社ネクスグループとの資本業務提携を契機に、株式会社ネクスグループの親会社である株式会社フィスコ（JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社：大阪府岸和田市、代表取締役社長：狩野仁志）および株式会社フィスコ IR、株式会社フィスコ仮想通貨取引所、株式会社 S J I と各業務提携と協業を推進いたします。詳細は別紙「テリロジーとフィスコグループの協業」をご参照ください。

以 上

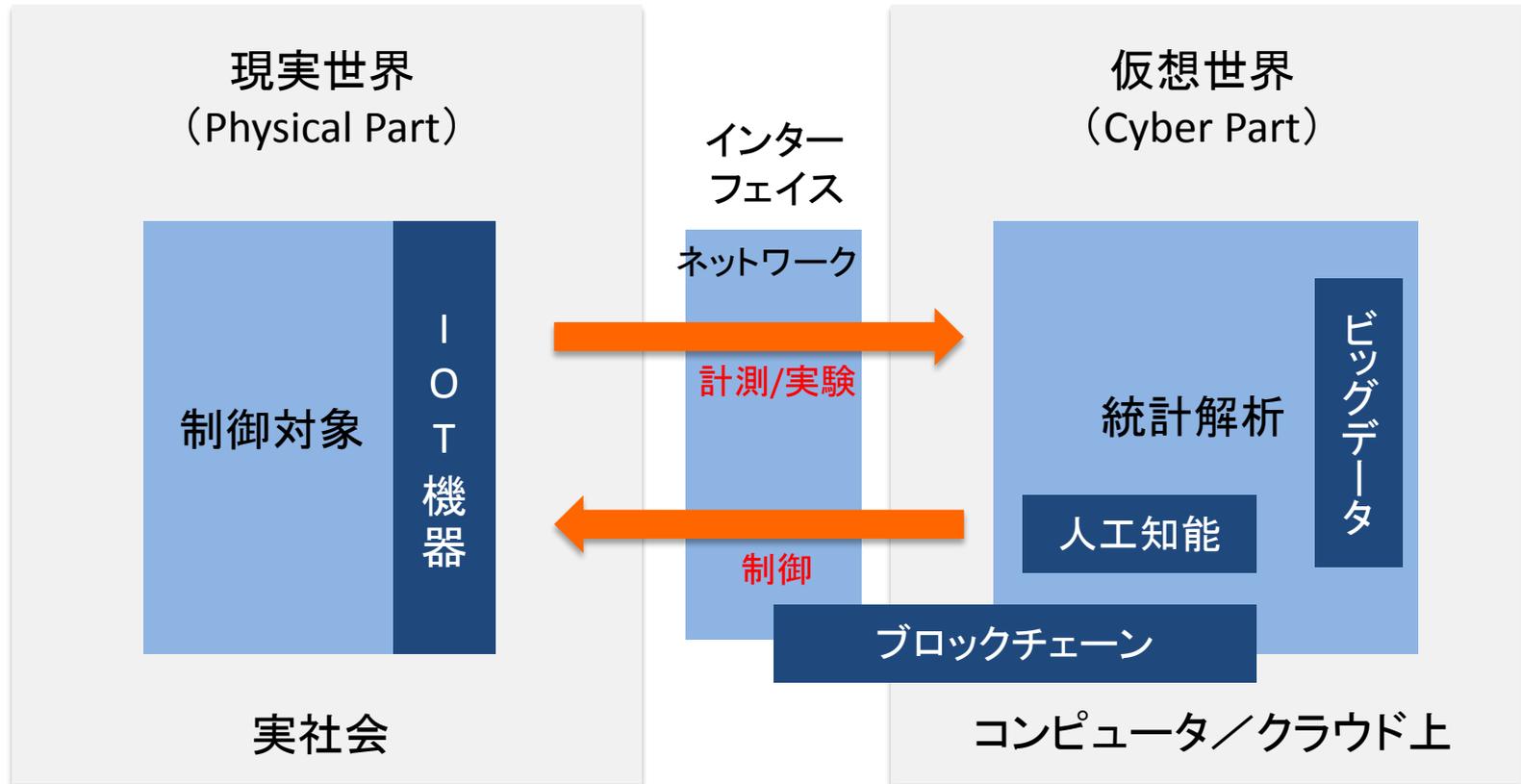
<別紙>

テロロジーとフィスコグループの協業

第4次産業革命の到来に向けて Cyber-Physical Systemの実現

現実世界の制御対象のさまざまな状態を数値化し、仮想世界において定量的に分析することで新しい知見を引き出し、さらに現実世界へフィードバック及び制御する

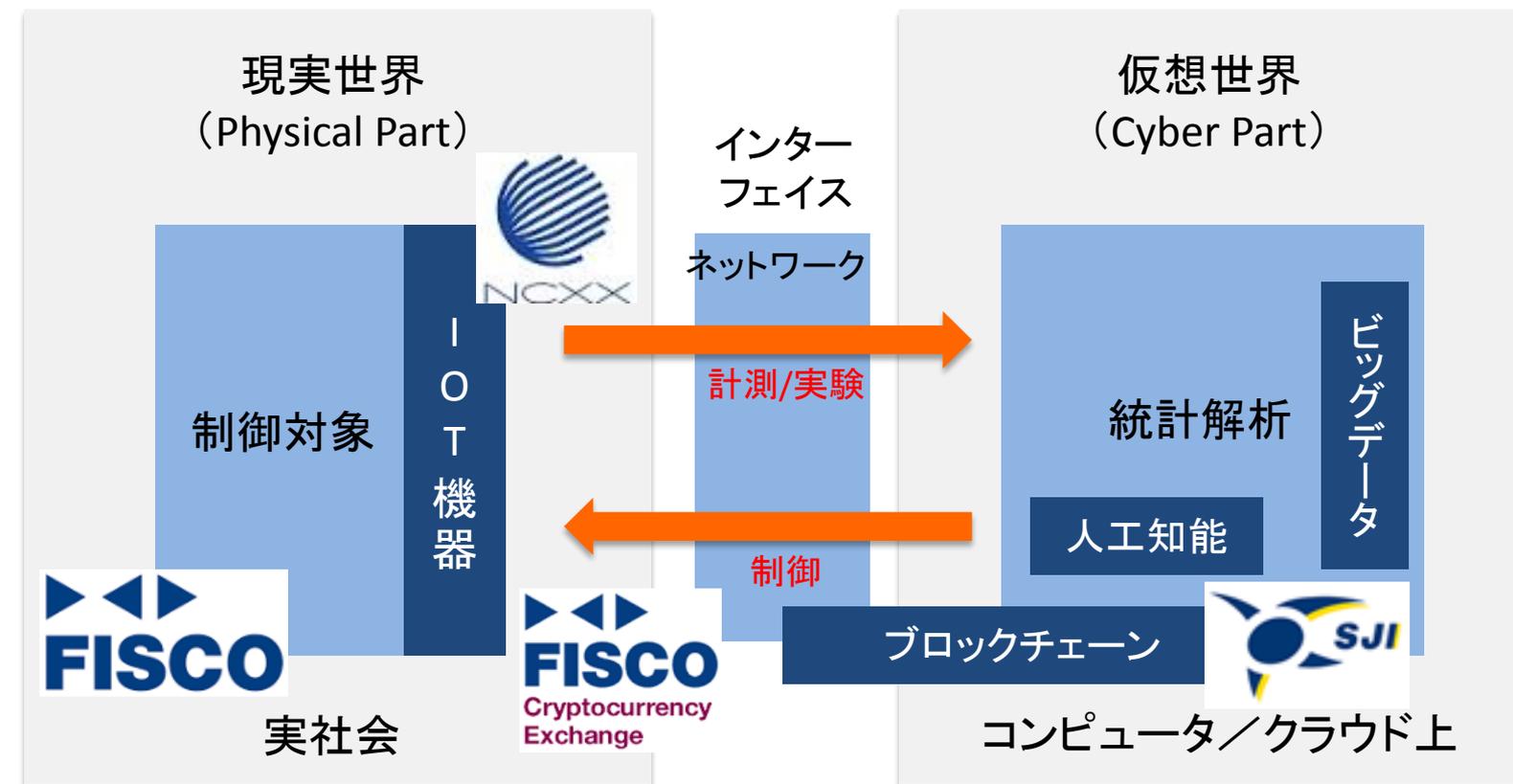
Cyber-Physical System (CPS概念図)



Cyber-Physical Systemにおけるグループ各社のポジション

フィスコグループ全体でCyber-Physical Systemを実現するにあたり、テリロジー社は全域にわたってセキュリティを強固なものとする

Cyber-Physical System (CPS概念図)



全体を通じてセキュリティは非常に重要



フィスコグループとテリロジーの協業

ネクスグループによるテリロジー資本参加を契機に、フィスコグループ4社と業務提携と協業を推進

資本提携内容

- ネクスグループによるテリロジー株式14.9%取得
- 加えて、マネジメント層の派遣を検討
 - ネクスグループからテリロジー社への取締役2名の派遣の検討

資本提携内容



グループ各社との業務提携内容



フィスコ × テリロジー:

フィスコ及びフィスコIRの企業ネットワークを活かしてセキュリティ製品の共同マーケティングやクロスセルを実行します

フィスコ仮想通貨取引所 × テリロジー:

他社取引所にはない強固なセキュリティを実現するとともに当該システムの外販を行います

ネクスグループ × テリロジー:

ネクスIoT機器に高度なセキュリティを実装するとともに、IoT機器間および機器とクラウド間での通信セキュリティを高める戦略商品の開発を行います

SJI × テリロジー:

テリロジーのセキュリティ製品にSJIの持つブロックチェーン技術を適用した高付加価値製品を共同開発をします。また、Momentum(テリロジー製品)のソフトウェア開発の共同事業化を推進し、効率化とシナジーを追求します

株式会社SJIは、平成29年1月開催予定の第28期定時株主総会で「定款の一部変更の件」が承認されることを条件として、「株式会社カイカ」に商号変更される予定です